

無料講座説明会 & 個別受講相談のご案内

無料講座説明会 予約不要 ◎当日は会場へ直接お越しください。
 内容： □CIA・CCSAとは □試験制度について □講座案内 □個別相談

日程	八重洲校		
時間帯	水曜:19:00~20:00	木曜:19:00~20:00	日曜:12:00~12:40
2017年 8月	9(水)・23(水)		
9月	20(水)	7(木)	
10月	4(水)・18(水)		15(日)
11月	1(水)・15(水)・29(水)		
12月	6(水)・20(水)		
2018年 1月	10(水)・17(水)・24(水)		14(日)
2月	7(水)・14(水)・21(水)		
3月	7(水)・14(水)・28(水)		25(日)

無料体験入学のご案内

TACの講義は、教室またはTAC各校のDVDブースで、お申込み前に体験していただくことができます。TAC各校の受付窓口にて所定の手続きを行い、ご利用ください。なお、DVDブースのご利用にあたっては、右記の時間帯にて、事前にご予約をお願いいたします。

講座説明会やセミナーがWeb上で視聴できる!!
TAC 動画チャンネル 資格の概要や試験制度、TACのカリキュラムをお話する「講座説明会」を無料でご覧いただけます。
<http://www.tac-school.co.jp/>

お問い合わせ 資格の内容、講座の内容、コース選択、受験資格の確認などご不明な点があればお気軽に!!
0120-509-117 (受付時間) 9:30~19:00 (月~金) 9:30~18:00 (土・日・祝)
 cia@tac-school.co.jp

申込方法 お手続きは簡単です!

下記の注意事項を必ずお読みの上、お申込みください。

☆0から始まる会員番号をお持ちでない方は、入会金(¥10,000-8%税込)が別途必要です(入会金不要講座・免除講座を除く)。会員番号につきましては、TAC各校までお問い合わせください。

TAC受付窓口でお申込みの場合	インターネットでお申込みの場合	郵送でお申込みの場合	大学生協等代理店で お申込みの場合
講座申込書にご記入のうえ、受講料を添えて受付窓口へお持ちください。お支払方法は以下のとおりです。 ①現金でのお支払い ②クレジットカードでのお支払い ※下記の表示のあるクレジットカードがご利用いただけます。 VISA MasterCard American Express JCB ※翌月一括かボーナス一括(利用できない期間があります)をご選択いただけます。 ※現金と併用してお支払いいただくこともできます。 ※TAC教育ローンの頭金へのご利用はできません。 ③デビットカードでのお支払い ※お客様ごとに設定されている支払限度額について、ご利用いただけない一部カードについて、利用可能時間・曜日については、予め取引先金融機関にお問い合わせください。 ④TAC教育ローン(分割払い)でのお支払い (30,000円以上のお申込み) ※TAC教育ローンをご利用の際は、別途案内書をご参照ください。	e受付 TACお申込みサイト http://ec.tac-school.co.jp/ 申込可能な商品は限られますのでTAC e受付サイトにてご確認ください。 ※支払は、クレジットカード・コンビニ決済・ペイジー(銀行・ゆうちょ決済)となります。 ※ご利用可能なコンビニエンスストアはe受付サイトにてご確認ください。 ※コンビニ決済は30万円までのお取扱となります。 ※銀行振込・コンビニ支払でのご利用は申込締切日の8日前までとなります。	銀行振込 (口座名) TAC(株) (振込先) みずほ銀行 / 神田支店 普通預金 2142263 ※振込は、ATMをご利用ください。早くて手数料がお得です。 郵便振替 (口座番号) 00140-4-74476 (名 称) TAC株式会社 ※郵便局備えつけの「払込取扱票」をご利用いただくか、ATMをご利用ください。 ①申込書 ②受講料の振込控え(コピーでも可・インターネットバンキングでのお振込みの場合には振込終了画面等のTACへの送金を確認できる画面をプリントアウトして添付ください。お客様の口座番号・口座残高は黒塗し等いたいても結構です。) 2点を同封しTAC申込手続係へ送付 ↓ TAC申込手続係 〒101-8383 東京都千代田区三崎町3-2-18 ★お振込控えがない場合、ご本人様の確認ができないため、お申込み手続き、教材の発送等が遅れます。 ※振込手数料はお客様ご負担となります。 ※TACは原則として前払いとなります(一部代引き除く)	生協等の専用申込書に記入し、割引受講料をお支払いください。 ※生協等で「申込者控」を必ず受取ってください。 ↓ TAC受付で申込書に記入し、「申込者控」(生協等で受取)とともに提出 通信の方は店舗から受取った返信用封筒に「申込者控」「TAC郵送専用申込書」を入れてお送りください。 ※取扱店舗により申込方法が異なる場合がございます。また、一部お申込みのできない講座・コースもございます。
会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し 学習スタート	会員証の発行 ご自宅へ郵送(通付メディアは窓口渡し) 学習スタート	会員証の発行 ご自宅へ郵送 学習スタート	会員証の発行 TAC受付窓口で手渡し(通付メディアはご自宅へ郵送) 学習スタート

注意事項 ●当案内書の有効期限は、2018年3月までになります(コースにより申込期限が異なりますので、ご確認の上お申込みください)。●未成年者(20歳未満)が受講申込み(受講料5万円以上)をする場合には、別途親権者の自筆による「同意書」の提出が必要です。
 ●TAC提携校では、一部お取扱いできない場合もございますので、予めご了承ください。●教育訓練給付制度のご利用をお考えの方は、受講申込前にTAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」にて制度の内容ならびに対象コースを必ずご確認ください。
 ●教育訓練給付制度をご利用希望の場合は、「TAC-Wセミナー教育訓練給付制度申請申込書」をご提出ください。

TAC
 公認会計士 / 税理士 / 簿記検定 / 社会保険労務士 / 中小企業診断士 / 証券アナリスト / ファイナンシャル・プランナー / 不動産鑑定士 / 宅地建物取引士 / 建築士 / マンション管理士 / 管理業務主任者 / 公務員(地方上級・市役所・国家一般職) / 公務員(技術職) / 教員採用試験 / 警察官・消防官 / 行政書士 / 通関士 / 弁理士 / 知的財産管理技能検定 / 米国公認会計士 / 公認内部監査人(CIA) / 情報処理技術者 / パソコンスクール / CompTIA / ビジネスプロ養成スクール / 医療事務(医科・歯科)

Wセミナー(WセミナーはTACのブランドです)
 司法試験 / 司法書士 / 公務員(国家総合職・外務専門職) / マスコミ

資格の学校
TAC

資格の学校
TAC

[LICENSE GUIDE] 2017.08-2018.03

公認内部監査人

国際資格はTAC!!

2016年度 国内合格者数

333名!!

前年の1.8倍になりました。
 学習するなら今がチャンス!
 (日本内部監査協会公表資料より)

CIA&
 Certified Internal Auditor
 [公認内部監査人]

CCSA
 Certification in Control Self-Assessment
 [内部統制評価指導士]

1 定期的な教材リニューアル
 2 豊富な問題数 約1,600問!
 3 CIA・CCSAのW国際ライセンスを取得できる!

教育訓練給付制度(一般)指定コース有り

無料講座説明会 出席者特典!! **¥10,000** 入会金免除券 プレゼント

詳細は裏面をご覧ください

資格の学校 **TAC**

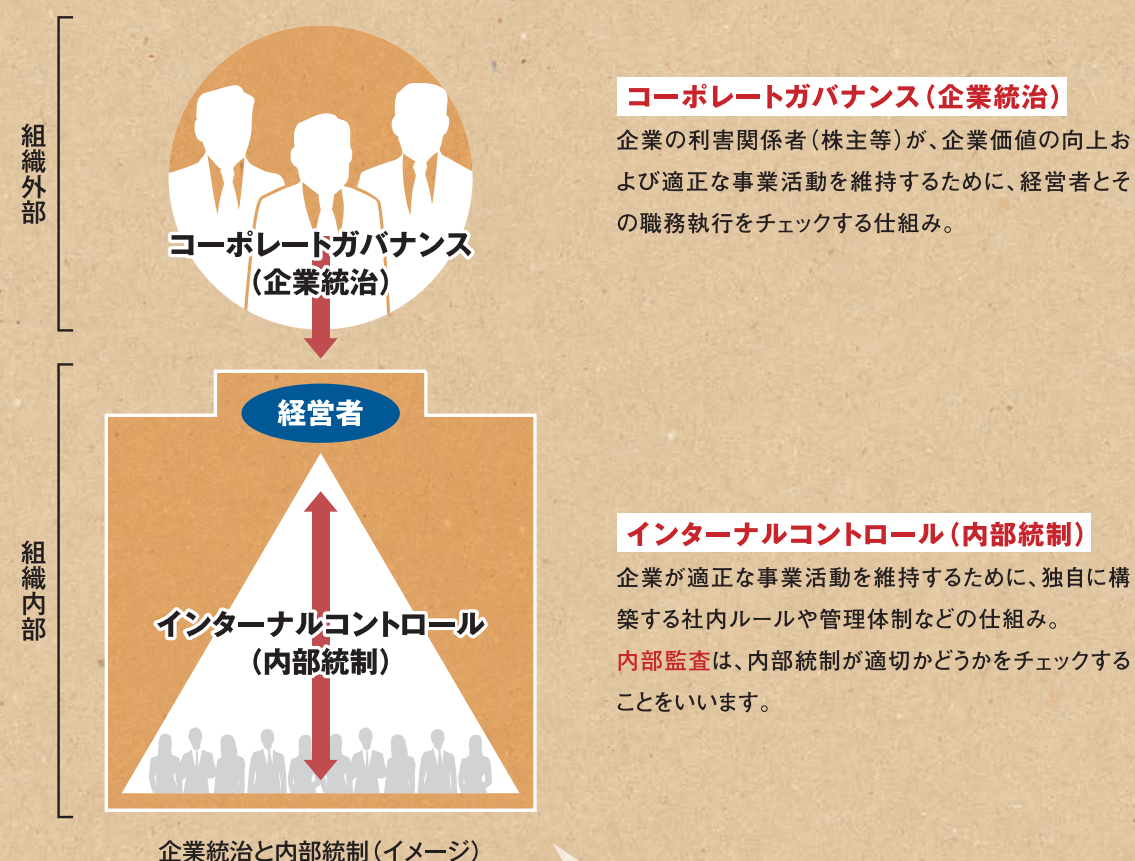
東証1部上場(証券コード4319)株主優待制度あり <http://www.tac-school.co.jp/>

TAC(株)公認内部監査人(CIA) 337-0901-1005-10

なぜ、組織体にCIA(公認内部監査人)・CCSA(内部統制評価指導士)が必要なのか？

近年、組織体であらゆる問題(粉飾決算、食品偽装、危機管理体制の不備等)が生じているのは、**内部統制**と**企業統治**の知識を適切に持った者がいないため、これらが正常に機能していないことが主な要因として挙げられます。

昨今の不祥事から、CIA・CCSAで学習する**内部統制**や**企業統治**の知識は、内部監査人だけでなく、**組織を構成するあらゆる人が学習すべき内容**です。



コーポレートガバナンス(企業統治)

企業の利害関係者(株主等)が、企業価値の向上および適正な事業活動を維持するために、経営者とその職務執行をチェックする仕組み。

インターナルコントロール(内部統制)

企業が適正な事業活動を維持するために、独自に構築する社内ルールや管理体制などの仕組み。

内部監査は、内部統制が適切かどうかをチェックすることをいいます。

内部統制知識の欠如が組織を崩壊させる!!

内部統制は、経営者と従業員が一丸となり、自主的に構築していくものです。しかし、組織体に適切な知識を持った者がいなければ、内部統制は形骸化し、組織や個人に暴走する機会を与えてしまいます。組織や個人の暴走を抑止し、適切な組織作りを支援するのが、CIA・CCSAです。

CONTENTS

▶試験制度	P3
▶ファシリテーション・トレーニング講座	P5
▶TACの強み	P7
▶合格者の声	P8
▶講師紹介	P11

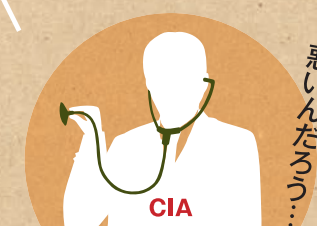
組織の崩壊を防ぎ、企業価値向上を目指すのが、CIA・CCSA!!

CIA

およその学習時間は
300~400時間

CIAは、内部統制・内部監査に関するスペシャリストを称する国際資格です。CIAは、組織やその構成員を守るために内部統制の適切性をチェックします。CIA試験は、現在、世界約190の国と地域で実施されており、世界のあらゆる組織においてCIAが必要とされています。

CIAは、ホームドクター



CIAは、**理論**にフォーカス

CCSA

およその学習時間は
20~50時間
※CIA Part I・II 学習修了者を前提

CCSAは、CSA※(コントロールの自己評価)に関するスペシャリストを称する国際資格です。CCSAは、現場のキーマンに内部統制やリスクに関するノウハウを伝授し、当事者意識を高め、自らの業務をチェックさせることで効率的・効果的に内部統制の適切性をチェックします。

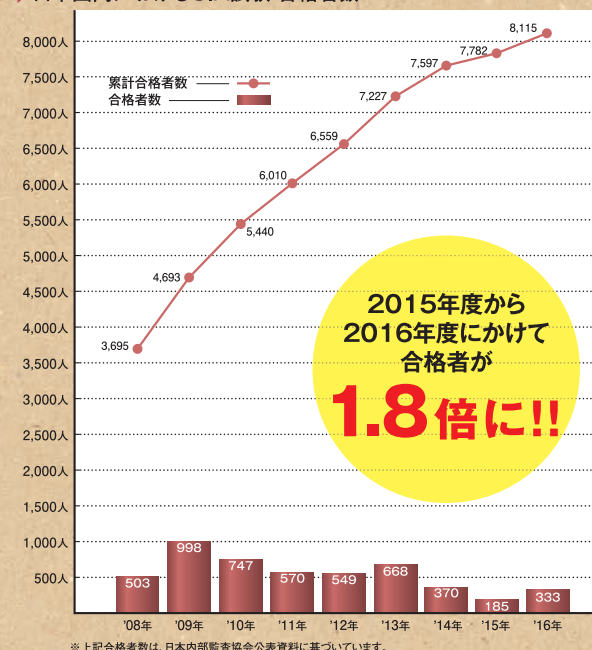
※CSAとは、業務に責任をもつ人が自ら内部統制の有効性を検証・評価するプロセスをいいます。

CCSAは、コーチ or カウンセラー



CCSAは、**コミュニケーション**にフォーカス

▶日本国内におけるCIA試験 合格者数



▶TACオリジナル教材	P12
▶学習メディア	P13
▶フォロー制度	P14
▶実践的カリキュラム コースガイド	P15
▶日程表	P17

▶受講料一覧	P19
▶CPEについて	P19
▶無料講座説明会日程&申込方法	裏表紙

認定要件

CIA・CCSAの資格認定にはIIA本部への登録後4年以内に、以下1～4のすべての要件を満たす必要があります。

1. 教育要件(CIA・CCSA共通)

要件：(以下のいずれか) **(受験申請の時点で必須)**

■ 4年制大学を卒業

※教育要件を満たされていない方で、以下のいずれかの要件を満たしている場合は認定の対象となります。

- 短期大学または高等専門学校(高専)を卒業されており、5年以上の実務経験があること^(注1)
- 7年以上の実務経験があること^(注2)

(注1) 受験申請の時点で最低2年の実務経験があることが条件

(注2) 受験申請の時点で最低4年の実務経験があることが条件



推薦状



実務経験証明書

2. 実務経験

要件： **(IIA本部への登録後4年以内に必須)**

■ CIA：2年以上の内部監査、またはこれに相当する業務(外部監査、監査役監査、品質のアシュアランス、リスク・マネジメント、コンプライアンス、内部統制等、監査や評価業務に関するもの)の実務経験
会計・法律・ファイナンス・経営に関する修士取得者、および2年以上の教職経験は実務経験1年分に充当されます。

■ CCSA：コントロールに関する1年以上の実務経験(CSA、内部監査、リスク・マネジメント、環境監査)

(ただし、CIA資格保持者は1,2,3について提出不要となります)

3. 推薦(CIA・CCSA共通)

要件： **(受験申請の時点で必須)**

■ 受験者は、高い倫理観と専門職としての適格性を示さなければなりません。受験者がIIAの「倫理綱要」に照らし、「CIAまたはCCSAという資格に求められる人物像として適格な人物である。」という、客観的立場の第三者による推薦が必要です。推薦者にはIIAの「倫理綱要」をお読みいただいた上で推薦をお願い致します。推薦者の要件としては、受験者の親族以外の客観的な立場の第三者の方で、上記の趣旨をご理解していただいた推薦者であれば、勤務先の上司や教授以外の方でも結構です。

(※万一、認定者の資格の適正に疑義が生じた場合、IIAより推薦者に対し、照会の連絡がある場合がございます。)

4. 試験などの要件

要件： **(IIA本部への登録後4年以内に必須)**

■ 以下の各試験に合格しなければなりません。

(CIA)

Part 1(内部監査の基礎)

Part 2(内部監査の実務)

Part 3(内部監査に関連する知識)

(CCSA)

CCSA試験の合格およびファシリテーション経験証明書の提出

※IIA本部における最初の受験登録から4年以内にすべての科目に合格し、提出書類の承認を受ける必要があります。4年以内にすべての手続きが完了していない場合、合格科目は無効となり、受験費用は返却されませんので、ご注意ください。認定要件の詳細に関しましては、(社)日本内部監査協会のホームページにてご確認ください。なお、受験申込書・推薦状等の出願用紙は上記協会ホームページ(<http://www.iiajapan.com/>)よりダウンロードしてご利用ください。

※CPE(継続的専門能力開発制度)につきましては、P19をご確認ください。

試験概要

CIA CIA試験は次の3科目から構成され、科目合格制となっています。

Part I：内部監査の基礎

2時間30分・125問

[出題割合]

- IIAの拘束的な性格を持つガイダンス 35～45%
- インターナルコントロールとリスク 25～35%
- 監査業務実施のためのツールと技術 28～38%

Part II：内部監査の実務

2時間・100問

[出題割合]

- 内部監査部門の運営管理 40～50%
- 個々の監査業務の運営管理 40～50%
- 不正リスクとコントロール 5～15%

Part III：内部監査に関連する知識

2時間・100問

[出題割合]

- ガバナンス/ビジネス倫理 5～15%
- リスク・マネジメント 10～20%
- 組織構造とビジネスプロセス 15～25%
- コミュニケーション 5～10%
- 経営管理/リーダーシップ原則 10～20%
- IT/事業継続 15～25%
- 財務管理 13～23%
- グローバルビジネス環境 0～10%

CCSA CCSA試験は、次の6分野から構成されます(1回の試験となります)。

[分野]	[トピックアウトライン]	[出題割合]	
ドメイン1. CSAの基本		5～10%	CSAの論点はCIA Part IIで学習しますが、より深く学習する必要あり!
ドメイン2. CSAプログラムの導入		15～25%	
ドメイン3. CSAプロセスの要素		15～25%	
ドメイン4. ビジネス目標と組織のパフォーマンス		10～15%	CIA Part I・IIで学習済み!
ドメイン5. リスクの識別と評価		15～20%	
ドメイン6. コントロールの理論と適用		20～25%	

→ CCSA試験対策講座
でカバー!!
詳細はP16

CIA

CCSA

一部共通

☐ 試験方式	コンピュータ・ベース・テスト(CBT) ※試験は、試験会場に備えられたパソコンにより出題・解答のすべてが行われます。 ※受験者が電卓を持参することはできません。パソコンの電卓機能を使用します。	☐ 試験時間	各科目2時間～2時間30分(CCSAは2時間55分)
☐ 試験言語		☐ 受験言語	日本語またはいくつかの言語
☐ 出題形式	四肢択一式	☐ 試験結果	採点は科目ごとに行い、得点は250から750ポイントのスケールドスコアに換算されます。合格ラインは各科目600ポイント以上です。
☐ 出題数	各科目100～125題(CCSAは115題)		

受験費用

CIA

	IIA個人会員	IIA個人会員以外	学生・教員
登録料	¥12,000	¥24,000	¥6,000
CIA Part I	¥31,000	¥43,000	¥24,000
CIA Part II	¥25,000	¥37,000	¥18,000
CIA Part III	¥25,000	¥37,000	¥18,000

※IIA個人会員年会費¥20,000(入会日より起算して1年)(2017年7月時点)

※入会には1～2ヶ月かかります。
「IIA個人会員」料金は、個人会員手続きが完了している方のみに適用されます。

CCSA

	IIA個人会員	IIA個人会員以外
登録料	¥12,000	¥24,000
CCSA	¥43,000	¥55,000

受験手続

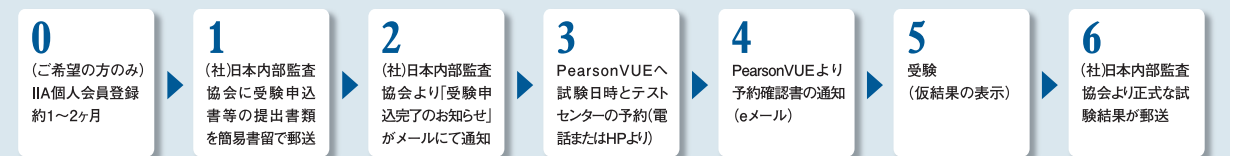
受験手続は2段階。申込手続完了後、テストセンターへの予約が必要となります。

CIA

CCSA

共通

【申込みから認定までの流れ】



☐ 試験会場	PearsonVUEが認定するテストセンター (札幌市、仙台市、東京都、横浜市、名古屋市、大阪市、広島市、松山市、福岡市、那覇市)
☐ 試験日	通年で科目ごとに受験が可能 テストセンターによって営業日が異なるため、PearsonVUEのホームページでご確認ください。 http://www.pearsonvue.com/japan 各Partの受験有効期間は、申込登録が完了した日を基準に180日間です。 不合格の科目は、試験日から90日間は同一科目の受験手続きはできません。
☐ 試験結果	試験終了後に、仮の試験結果が発行され、その後、IIA本部より正式な試験結果が発行されます。
☐ 注意事項	日本での申込受付後、IIA本部で登録が行われますが、世界各国からの登録がありますので、登録完了の通知まで約4週間前後かかります。



受験申込書

CCSA (内部統制評価指導士) 認定対策コース ファシリテーション・トレーニング

ファシリテーションとは？ 会議の進行や決議を効果的に促進することをいい、この役割を担う者をファシリテーターといいます。

2日間の研修で、ファシリテーションを体感し、交流を深めよう！

日程

第21回 2017年 12/9(土)、12/10(日)

第22回 2018年 5/12(土)、5/13(日)

※2018年3月より申込開始予定

場所 八重洲校

時間 9:30～17:45 (休憩含む)

申込方法 TAC各校舎でのお手続き

※内部統制の基礎知識をお持ちの方を対象としています。

※定員に達し次第、お申込みを締め切らせていただきます。

※人数限定のコースのため、お申込みはTAC各校舎でのお手続きに限らせていただきます。

※当コースは入会金不要コースです。

※当日は、可能であればお名前をお持ちください。グループミーティングの実施も予定しております。

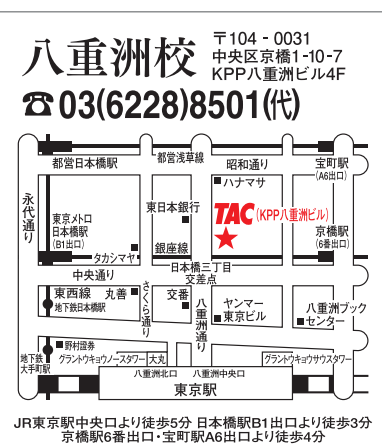
※2日間出席された方にのみ修了証を発行いたします。

※日程、場所、講師等は都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

各先着20名限定！

TACは、CIA・CCSA試験前の
修了をオススメします!!

※CIA試験では、PartⅡで“ファシリテーションアプローチ”が出題範囲となっています。ファシリテーションのイメージがわき、試験に大変有効です。



講座

これまでの受講生は200名超！

CIAとCCSAを同時に
学習される方が増えています!!

ファシリテーション・トレーニング講座実施風景



※TAC主催のファシリテーション・トレーニングは、日本内部監査協会公表のCCSA認定トレーニング規程に沿って実施いたします。トレーニング規程に関しては、日本内部監査協会HPにてご確認ください。

出席者の生の声

- 価値の高いスキルを体感することができた。
- 有意義だった。
- 2日間あっという間だった。
- 受講前は不安だったが、参加して良かった。
- ファシリテーション・スキルは内部監査だけでなく普段の会議でも役立つと思った。
- 2日間集中して考える力が身につき、よい刺激になった。
- グループワークについて様々な経験ができて勉強になった。
- 講師のレクチャーが面白く、為になった。
- 学んだことを実務で活かしていきたい。
- 社内のCSA導入に向けての準備に有効。
- 会社以外の世界で向学意欲の高いメンバーに囲まれ有意義な時間をすごせた。
- CCSA認定の為に参加だったが予想以上に楽しかった。

1日目の主なスケジュール(予定)

9:30～	▼顔合わせ ▼ファシリテーションの概要(講義) ▼グループワーク(経験の共有 etc)	14:00～	▼ファシリテーションツール(講義) ▼グループワーク(経験の共有 etc)
	▼演習1、2(グループミーティング 2回)		▼演習3、4(グループミーティング 2回)
13:00～	▼休憩		

最終日には、
修了証を
発行します！

200名超の修了者を輩出！



出張ファシリテーション研修も随時受付けております。
まずは、cia@tac-school.co.jpまでご相談ください。

受講のメリット！



ファシリテーション・ミーティング(イメージ)

① CCSA (内部統制評価指導士) 資格認定要件のうち、
ファシリテーション経験の要件を満たす！

② CIA (公認内部監査人)、CCSA等の
継続教育制度16CPEに相当！

③ 社外交流の場を通じて、
人脈を築くことができる！

④ 実務で有用なファシリテーション・スキルを
身につけることができる！

コース名	学習メディア	会員情報	コースNo.	クラスNo.	受講料	受講期限
CCSA認定対象コース 第21回ファシリテーション・トレーニング	教室(八重洲)	TAC非会員	184-871	F1	¥72,000	2017/12/10
		TAC会員※	184-881		¥64,800	

※TAC・Wセミナー会員の方で、0または9から始まる10桁の会員番号をお持ちの方を対象としています。窓口でお申込みの際に、会員証をご提示ください。会員証を紛失された場合は、各窓口にお問い合わせください。TAC会員データベースで登録確認がとれたら会員価格にてお申込みいただけます。

※他の割引制度との併用はできません。

TACの強みは!?

TACの強み 1

教材・カリキュラム・講義の定期的なリニューアル!

TAC CIA講座は、定期的に講座のリニューアルを実施しています。2016年7月から2017年1月の改訂で、テキストに章ごとのまとめと確認問題が新たに追加になりました。講義も一新し、今まで以上に皆さまを合格へと導けるプログラムに生まれ変わりました。これからもCIA講座はより良い講座を目指し改善を続けていきます!

※過去のCIA本科生受講生の方は、再受講価格で最新教材をお求めいただけます。

▶P15

TACの強み 2

豊富な問題数 約1,600問!!

CIA試験では、本試験問題が公表されておりません。そのため、合格には規定を細かく覚え、アウトプットとして予想問題を多く解くことが一番の近道となります。TACではテキストとトレーニングを併せて約1,600問の問題を掲載しています。これらの問題は、紙でもWebでも解くことが可能です。

▶P12

TACの強み 3

CIA・CCSAのW国際ライセンス!!

CIAを学習される場合は、ぜひCCSA(P2)の取得も視野にいれていただきたいです。CCSAはCIAと学習範囲が9割程度重複します。そのため、CIAに、CCSA試験対策講座(1コマ3時間)とファシリテーション・トレーニング講座(P5)をプラスするだけでW国際ライセンスを目指せます。TACではCIA・CCSAを目指せるプログラムを用意しております。

▶P2

CIA試験合格者インタビュー

ホームページには合格者の声を多数掲載中!
是非ご覧ください! TAC CIA 検索

合格者の声



大内 大輔さん

U.S.CPA CIA
外部監査を中心とした
U.S.CPAと内部監査を中心とした
CIAの相互シナジー効果!

U.S.CPAを取得後、金融機関の内部統制に関するアドバイザー業務を担当するにあたって、資格の取得を通じてこれらの基礎知識を確認できるCIAの学習が業務に有用であると考えた為、学習を決めました。また、**外部監査を中心としたU.S.CPAに加え、内部監査を中心としたCIAを取得することは、相互にシナジーを発揮し、自己のスキルのブラッシュアップにも有効**と考えました。

Part3は1ヶ月、Part1は半年程で合格しました。Part2は途中で試験範囲が変更となったこと、業務上の海外出張が増加したこと等を主要因とし、点数不足して合格できなかったため、念のためTACの単科講座も受講しました。結果、予想よりも期間を要しましたが、業務/家庭を最優先としつつCIAの取得に至ったため、無理のないゴールができたと思っています。



生田 太郎さん

CIA
経理経験にプラスして
能力をアピールできる!

会社がIPOを目指しているなかで内部監査室を発足。経理責任者として、内部監査に適切に対応するためには何が必要なのかを学びたかった(J-SOX法では何が求められるのか知りたかった)ため学習を決めました。また、今後注目されそうな資格で、**経理経験にプラスして能力をアピールできる**と考えました。実際、勉強し始めた頃とは違い、**内部監査の業務についている人々からの評価は高い**です。

TACはテキストだけではなく、レジュメや問題集が充実していると感じました。CIAにおいては単に問題集を解く、テキストを読むだけではなく、徹底して規定を理解していることが必要。この点については独学では絶対に無理であり、講義と問題集には助かりました。



小林 基弘さん

CIA
CIA資格取得は、
内部監査の本質を理解する
チャンス!

私は、長時間を勉強時間に充てることができなかったためDVD通信で学習しましたが、自分の予定にあわせながら無理なく勉強を続けられて時間を有効に使うことができました。DVDは、1講義を前半と後半に分けて2日間かけて見ました。DVD視聴後は、テキストを読んで理解し、トレーニングを解いて知識の確認を行いました。

トレーニングの学習では「何故、この解答になるのか?」と理由・根拠を考えて解答するように意識して学習しました。そして間違えた問題にはチェックマークを入れることで自分の弱点を洗い出し、弱点の克服に限られた時間をかけるようにしました。**CIA試験はトレーニングの問題がそのまま出題されることがあるため、細切れの時間を有効に活用してどのPartも最低4回は解くようにしました。**



長瀬 隆二さん

U.S.CPA CIA
TACは短期間で
合格するためのノウハウが
詰まっていたように思います。

外資系メーカーの管理部で仕事をしながらの受験でしたが、合格までのおおよその学習時間は講義時間も含めて250時間ほど、全Part全て初回受験での合格でした。U.S.CPAのライセンスを持っていましたので科目免除の申請(※)を行い、TACでは3科目本科生を受講しました。U.S.CPAの受験の際もTACでお世話になっており、教材や講師に信頼を置いていたことから、CIA受験も迷わずにTACに決めました。補助レジュメは視覚的に論点が理解できるように工夫されており、大いに活用しました。講義の解説はポイントが絞られており、**短期間で合格するためのノウハウが詰まっていたように思います。**

(※)旧試験の免除制度



辻 健一さん

CIA
意欲さえあれば
年齢は関係ありません。

内部監査は、企業に価値を付加するもので、組織にとって必要なものです。若いうちから監査の考え方を習得しておくことは、非常に重要だと思いますし、**CIAを通して内部統制や監査の知識を習得することが今後のキャリアにも良い影響をおよぼす**と思います。一方で年齢を多少重ねているからといってCIAを諦めるのは非常にもったいないと思います。私は、**意欲さえあれば、年齢は関係ない**と思っています。これは、60歳を過ぎてからCIAにチャレンジした私自身が証明していることです。



金 清美さん

CIA
内部監査側だけでなく
経営者や被監査側の視点を
持つことが効果的!

CIA試験は、1問にかけられる時間が非常にタイトな試験です。私は仕事の休憩時間に問題を解くなど隙間時間を大切にし、有効活用しました。早朝や帰宅後及び休日は、講座受講とテキストを読み込み、**本試験の問題ボリュームや回答スピードを意識しながらトレーニングをまとめて解きました。**

CIAは学習領域が幅広いですが、試験自体の一発合格は決して難しいものではないと思います。内部統制の必要性はこれから増すばかりなのでこれから受験される方は、CIAとはどういった存在で、どのような目的を持ち、それを達成するためには何をどのように考え、手法として何を用いるべきかといった内部監査人の視点とともに、経営者や監査を受ける側の視点など様々な立場になって学習されると、より効果的だと思います。

TACでよかった！ TACだから合格できた！



石田 晃大さん

CIA

**TACの講義は、
考える力が身につく！**

製造業の内部監査室に転職した際、上司からCIA取得の指示があり勉強を始めました。TACの講座は初心者でも抵抗なく学べる親切なカリキュラムで、試験合格を重視しつつ、合格後には習得した知識を実務でどのように活用するのかという点まで具体的に説明があり、実務をイメージし易く「自分で考える力」が身につきました。講義とテキストで基本を抑え、論点を豊富に盛り込んだ問題集で自身の不足部分をカバーし、また改めてテキストや基準に戻ると一層理解が深まります。実際の試験では問題集からそのまま出題されたものは時間短縮となり、それ以外の問題が出題されても「自分で考える力」で乗り切ることができ、TACの講座で身につけた力が資格取得と実務にたいへん役に立っています。資格取得まで6ヶ月学習すれば十分余裕があり、基礎がある人であればTACの講座で更なる短期合格が可能だと思います。

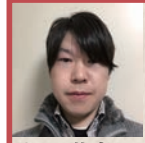


石井 三年さん

CIA

**実務の話を交えながらの講義は
自然と理解がすすむ！**

元々、監査という業務に興味があり、業務改善の提案をすることで企業を守り、発展させていく仕事に就きたいと思っていました。ある時、会社の推薦資格の中に「公認内部監査人」という資格があることを知り調べてみると、自分のこれまでの経験を活かし、かつ今後目指すべき仕事をする為にピッタリと当てはまる資格であり、チャレンジすることにしました。以前に社会保険労務士講座でもTACでお世話になり、カリキュラム等全てを任せて合格を勝ち取った経験から、今回も迷わずTACのCIA本生生を選びました。CIA試験の学習に出てくる文言は理解し難いものが多いと思いますが、講師の方々の実務のお話を交えながらの講義によって非常にイメージし易く、自然と理解が進みました。教材の精度も高く、問題集の解説もわかりやすく、試験対策として十分な内容でした。



山口 英孝さん

不動産鑑定士 CIA

**CIAは、監査・経営管理・会計・ITなど
幅広く管理部門の教養を広げるのにも
最良の資格だと思います。**

銀行から、J-REIT(不動産投信)の資産運用会社へ出向し、コンプライアンスや内部監査などを担当することになったのがCIAの受験を決めたきっかけです。元々、資格の存在と概要は知っていたのですが、直接に関わる業務を担当することになったことで、是非取得しておきたいと考えました。

この試験は、他の試験と比べて圧倒的に情報量が少なく、効率よく合格するには、受験指導校を利用するのが必須と考えておりました。講座申し込みの前に、無料説明会に参加、コンパクトにまとまっていた教材類を参照し、有効に活用できそうだなと思いました。

CIA資格はまだまだ、認知度が向上途中かもしれませんが、国際的に認知されていることもあり、この分野の知識を証明するツールになると思います。また、監査・経営管理・会計・ITなど幅広く管理部門の教養を広げるのにも最良の資格だと思います。

よくある質問 Question & Answer

Q 合格までの学習時間はどのくらいですか？

A 約300時間～400時間(講義時間含む)が目安となります。TACが実施している合格者アンケートによると、合格までの平均学習時間は約300時間～400時間です。



石原 哲也さん

CIA

**CIAは
TACの教材さえやっていれば
必ず合格できる！**

私がTACを選んだ理由はDVDで自宅学習ができる点でした。まずはDVDを一度みて全容をつかむことが大事だと思います。次に行うのはカード式のトレーニング(※)。これをほぼ全問正解できるようになるまで、チェック欄を活用しながら、結局3回以上解きました。私は、結局すべて1回で合格することができました。TACを受講してよかった点はとにかく教材がよくできていると思います。CIA合格という目標に特化して、効率的に学習できるように素材が厳選されています。広範になりがちな科目もコンパクトに学習できました。今になれば、CIAはTACの教材さえやっていれば必ず合格できると断言しても良いくらいだと思います。約8ヵ月の短期間で合格できたのはTACの教材のおかげです。

(※)カード式のトレーニングは現在トレーニング教材に全て集約しています(P12)。



能勢 友規さん

CIA

**CIA受験は内部監査に
とどまらず、広く役立つ知識を
学ぶ良い機会になった！**

TACは校舎が各地にあるので自習室が利用しやすく、DVD通信講座に教室フリーパスという特典もあって学習環境が整っている点が受講の決め手となりました。全科目一度の受験で合格することができましたが、仕事が忙しい時期が重なり、学習開始から全科目の受験が終わるまで1年以上かかってしまいました。今から考えると1日5分でも復習すればよかったかなと思います。仕事に余裕がある時期は早めに出勤したりして、通勤時間やちょっとしたスキ間時間を利用してトレーニングをひたすら回しました。CIA試験は努力すれば必ず合格できる試験ですし、内部監査にとどまらずリーダーシップなど、広く役立つ知識を学べる良い機会になると思います。

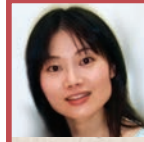


櫻井 裕さん

CIA CCSA

**CIAの知識が新鮮なうちに
CCSAチャレンジがオススメ！**

私のCIA受験の目的は単に試験に合格することだけではなく、実務に活用できる内部監査の知識を習得することでした。TACのテキストや講義の内容は、試験に短期合格するためのポイントと、実務に役立つ情報が両立しており、約半年間での合格に必要な知識と実務に活用できる体系的な知識の双方を得ることができました。また、TACのCCSA試験対策講義は試験に特化したコンパクトかつ濃密な内容で、短期間でCCSAに合格することができました。またCCSA資格取得のためのファシリテーションの知識は、内部監査業務や部内の会議の中でも活用することができます。CCSAの論点であるCSAは大変重要ですから、CIAのPartⅠとⅢの知識が新鮮なうちにCCSA資格取得にチャレンジすることをオススメします。



石塚 千紘さん

CIA

**TACのおかげでU.S. CPAも
CIAも全科目初回受験で合格！**

U.S. CPA試験合格後、仕事(フルタイム)、育児を両立させながら、TACのCIA講座(DVD通信講座)受講開始後2ヵ月で全科目初回受験で合格することができました。勉強は、平日は朝の通勤時間約20分とお昼休み1時間弱に問題演習を行い、夜は子供が寝た後にDVDをまとめて視聴していました。休日は子供と公園で長時間遊ばざるを得ないので、どうしても勉強は平日限定だったのですが、それでもU.S. CPAもCIAも全科目初回受験で合格できているので、本当にTACを選んでよかったと思っています。職場で異動になり急にCIAの知識が必要となってしまう、全く関連実務経験がなく焦っていたのですが、U.S. CPAの学習で得た知識をベースにCIAの学習をしたことで、短期合格に繋がったと思います。CIAにも合格することでU.S. CPA単独よりも付加価値がついたので、本当に満足しています。皆様も是非、U.S. CPA+CIAにチャレンジしてみませんか？



原 浩二さん

CIA

**内部監査士としての
知識を活かしてCIAに短期合格！**

勤務先のグループ関連会社、数十社の内部統制を管理、支援する業務を担当することになり、公的資格の必要性を強く感じたことがCIAを目指す動機となりました。また、内部監査士の知識を活かして取得できる資格であるということもこの資格の魅力でした。TACの教材は無駄がなく、適切適量であり、忙しい社員には大助かりの教材でした。これに加え、講師のポイント整理とツボ指南による体系的な学習方法は短期合格の大きな要因でしょう。トレーニングを通勤電車の中で繰り返し回しましたが、問題を解くというより問題一つ一つを心から味わい、何が問われているのかを見抜くことにより、理解が深まっていったように感じます。戦略経営と内部統制は企業価値の向上に不可欠な両輪であり、公正不偏、公明正大な監査能力を発揮するためにもCIAは最適な資格です。世界の規範となるような、フェアでグローバルな明日の日本企業を皆で支えていくためにも、また社会人の素養として、CIA取得を推奨します。



彦坂 淳一さん

CCSA

**Wライセンスコースは
CIAとCCSAの根底を流れる本質を学べる為、
応用問題に瞬時に対応できるようになる！**

今後、監査／内部統制はアシュアランス業務のみならず、CSA(Control Self-Assessment)やコンサルティングにも重点が置かれるでしょう。CSAの知識は被監査部門にとっても組織自体にとってもたいへん有益だと思います。CIAに留まらずCCSA取得により多角的かつ効果的な内部統制が可能となります。TACのWライセンス講座のメリットは①受講生の立場にたった効率的なカリキュラムとなっており、合格に直結する②CIA講座とCCSA講座の親和性が高く、首尾一貫した知識を会得できるうえに、CIAのPart I,Ⅱの勉強後DVDを視聴するだけでCCSA合格に近づく③単なる知識や受験テクニックに留まらず、CIA/CCSAの根底を流れるコアとなる考え方が身につく、いかなる応用問題に対しても瞬時に対応し正答を導くことができる。それは実務においてもそのまま活用できるものとなります。またTACファシリテーション講座は実際にありそうな状況をシミュレートした題材を用いたロールプレー中心の講義であり、目的を同じくする仲間と議論しながら、実践力を体得することができました。



高橋 朝幸さん

CIA

**TACのカリキュラムに
沿って学習を続ければ、
確実に合格できる！**

勤務先の非営利法人である学校法人においても内部監査の重要性が高まり、新たに監査室が設置されました。監査室の業務を担当することになり、内部監査全般についての知識や考え方を習得したいと考え、資格取得を目指すことにしました。出題範囲の広いCIA試験を効率よく合格するためには基本的かつ重要論点を踏まえたカリキュラムを提供するTACの講座が優れていると思います。特にPart ⅢのITに関する分野では講師による講義が本試験におけるポイントを分かり易く解説しており、受講生にとって大変有難く、心強いものでした。また、受講形態としては時間や場所の制限の無い通信講座は利便性が高く、教室フリーパス制度により教室講義に参加することで他の受講生の存在も意識することができて、良い刺激になりました。アウトプットはTACのトレーニングを繰り返し解くだけで、各Part共に1回の受験で合格することができましたので、TACのカリキュラムに沿って学習を続ければ、確実に合格できると確信しています。



田中 智代美さん

CIA

**実際の監査業務で
CIAの知識を活かすことが
できる！**

私がTACを選んだ理由は、U.S. CPAなどで以前TACにお世話になっており、講師・教材の質の高さがわかっていたためです。実際受講してみると、TACのCIA講義は試験をよく分析した内容となっていました。また、TACのトレーニングを活用することで、どの分野が自分の弱点なのかを明確にすることができました。Part I・Ⅱでは基準の読み込みが、全体の理解にとても役立ちました。内部監査部門に勤めていても、内部監査部門長や内部監査人の役割、本来実施すべき業務を全体構造の中で把握するということを意識してこなかったもので、Part I・Ⅱの講義で学んだことは、試験対策のみならず、内部監査の思想・業務・組織など、すべての意味で業務の見方を変えさせてくれました。実際の業務の中で知識を活かすことができるので説得力が増したと実感しています。CIA試験合格にあたっては、基準の読み込み、トレーニング、自習室を使用できたことが大きかったと思っています。



三木 浩司さん

CCSA

**効率の良い
CCSA試験対策講座で
CCSA初回受験合格**

金融関係の監査部に在籍している為、ダブル資格の相乗効果を期待して資格取得に臨みました。CCSA受験は約50時間の学習時間で、初回受験時に合格することができました。CCSAの学習範囲はCIA試験のPART IおよびⅡと重なっていますが、CCSAの為の学習素材は非常に少ないですから、TACのCCSA講座の講義DVDおよびレジュメは大変役に立ち、効率よく学習することができたと感じています。実績のある講師による講義とレジュメはよくまとまっていて、学習論点の理解が深まりました。しかもTACはCIA講座とリンクする形でCCSA通信講座が設けられており、認定要件として必要な「ファシリテーション・トレーニング講座」も用意されているので、一貫してTACを利用できる点が魅力でした。

TACは“短期合格”をコンセプトにかかげています。

そのため、講師陣は実務経験はもちろんのこと全員試験対策のスペシャリストが担当しています！



小菅 章裕氏

公認内部監査人(CIA)
内部統制評価指導士(CCSA)
中小企業診断士
米国税理士(EA)

個人情報保護士
▶Part I・II・III担当(教室)
▶ファシリテーション・トレーニング(教室)/Part III(収録)

CIAは内部監査の専門家である証(あかし)です。CIAになると、CPEの取得、内部監査協会のフォーラム参加により知識、経験に磨きをかけることができます。CIA講座では実務イメージを加味してガバナンス、内部統制、内部監査を取り上げます。きっと新たな発見(例えば海外拠点監査に役立つ海外の経営の在り方、日本との違い等)があるでしょう。これが、国際資格であるCIA学習のメリットです。一方で、CIA試験は範囲が広く、かつ概念論が中心となるため、独学での準備には限界があります。もし、独学で「モヤッ」とした印象が残る、過去問の解説を読んでも理解できない、という方は是非、TACの通学講座へ参加してください。

長年のコンサルティング等の実務、そして指導経験が皆さんの学習の効果効率を高め、「出席してよかった」「おもしろかった」という感想を得られるよう汗をかきたいと思っています。是非、CIA講座でお会いしましょう！

Profile

財務アドバイザー・ファーム退職後、セミナー講師として活動中。
大学卒業後、金融機関でデリバティブ・ディーリング、ミドルオフィスでの金融検査対応を行う。退職後、ディレクターとして統合リスク、不正リスク、PMI(ポスト・マージャー・インテグレーション)等のプロジェクトを指揮する。



田中 義徳氏

公認内部監査人(CIA)
米国公認会計士(U.S.CPA)
プロジェクトマネジメントプロフェッショナル(PMP®)

公認ビジネスアナリスト(CBAP®)
▶Part I・II(収録)

企業を始めとする組織体を取り巻く環境はグローバル化とIT化により急速に変化しています。このように急速に変化する環境の中にある組織体においてその目的・目標達成を客観的な立場から支援する内部監査人の役割が増えています。

内部監査人というと一般的には社内におけるルール違反や不正の発見などが主たる業務というイメージがあるかもしれませんが、実際は組織体の経営目標の効果的な達成を客観的な視点から支援するというのが本質的な立ち位置です。よって、経営全般に渡る非常に幅広い視野が必要であり、時には経営陣に対して厳しい指摘を出せるだけの知識も必要となります。このように広範な知識が求められる内部監査の世界において、CIA資格の取得は内部監査人が保有すべき体系的知識を有していることの最も有効な客観的証明となり、組織体内外において内部監査のプロフェッショナルとして認められる武器になるでしょう。

是非CIAを取得して内部監査のプロフェッショナルの称号を手にとってください。

Profile

株式会社フォースウェイブ・コンサルティング代表取締役
経営コンサルタントとして、内部統制整備、海外事業展開支援、海外子会社管理支援、ITプロジェクトの推進支援に従事。



TACの教材は短期合格を実現するため、それぞれに機能化されています。

講義(テキスト)→トレーニングを繰り返し、確実に合格を狙いましょう！

テキスト

計4冊



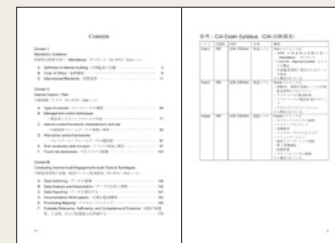
- Part I 9th Edition
- Part II 9th Edition
- Part III 9th Edition 上巻
- Part III 9th Edition 下巻

New

- セクションごとにまとめが追加
- セクションごとに確認問題が追加

➡ 9th Editionになり
より理解しやすいテキストに!!

IIA(内部監査人協会)が公表している試験出題シラバスに完全準拠!出題割合に合わせて、メリハリをつけていますので、最短距離での合格を強力にサポートします!

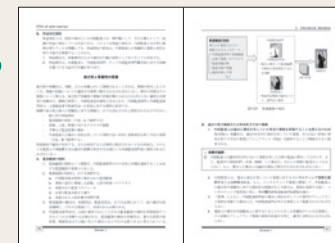


受講後は、テキストでポイントをチェック!



CIA試験で高い評価を得ているパワーズ社とTACのコラボレーションにより、試験で重視される論点を網羅!合格に必要な情報を効率的に吸収できるテキストとなっています! Part I・IIは、CIA試験で出題されるIPPF(専門職の実施の国際フレームワーク)のうち、最重要とされている「内部監査の定義」「倫理綱要」「国際基準」の日本内部監査協会訳を収録しています。

図解やケーススタディにより理解を深めることができ、「合格の秘訣」により、重要ポイントをおさえることができます。



トレーニング

「約1,600問」計7冊(6th + 9th)



- Part I 6th Edition
- Part II 6th Edition
- Part III 6th Edition 上巻
- Part III 6th Edition 下巻



New

- Part I 9th Edition
- Part II 9th Edition
- Part III 9th Edition
- 今までの6th Editionにさらに問題が約450問も追加!!

問題と解答・解説を同一ページに収録。効率良く学習できる!



トレーニングで問題演習!



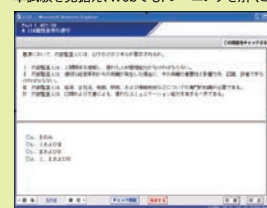
CIA試験はケーススタディ(事例研究)の形式で出題されることもあり、内部監査人としての判断力が試されます。トレーニングを丸暗記しても本試験に対応できませんので、判断力を強化する学習方法を意識的に行うように心がけましょう。

&

Webでもトレーニングを
解くことができます!

※内容は左記トレーニングと同じです。

本試験を見据え、Webでもトレーニングを解くことができます。



※画面はイメージです。

Webトレーニングについて

※Webトレーニングは「TAC Biz school」で学習いただけます。

「https://wb.tac-school.co.jp/check/」にて動作環境のチェックが可能です。

TACが
選ばれる理由

3 選べる学習メディア

ライフスタイルに応じてさまざまな学習メディアをご用意しています。

1 DVD通信講座



教育訓練給付制度指定コース:Wライセンス・CIA本科生DVD通信講座

オススメ

DVD通信講座 (Webフォロー標準装備+教室フリーパス制度)



自宅が教室になる! DVDで迫力の講義を再現!

教室講義を収録したDVDをお届けします。高画質・高音質なDVDは、早送りも簡単、巻き戻しも不要で機能性も抜群。

受講メリット

- サーチやスキップの操作で繰り返し学習が可能!
- 自分のペースで学習ができるので、忙しい社会人には最適!
- 講義録(板書)の活用でノート作成不要だから講義に集中できる!
- 「教室フリーパス制度」を利用し、教室講座にも無料で出席できる!

※DVD通信講座でのご受講にあたっては、DVD-R対応プレーヤーが必要となります。パソコンやゲーム機などでの再生は、動作保証対象外となりますのでご注意ください。

Webフォロー
標準装備

2 個別DVD講座

予約制

個別DVD講座

(Webフォロー標準装備+教室フリーパス制度)

DVDブースで集中学習。 スケジュールは自由自在!

Webフォロー
標準装備

ご都合の良い日に予約をして、TAC直営校(八重洲校、新宿校、水道橋校、なんば校)のDVDブースで教室講義を収録したDVDを見て学習するスタイルです。「自分のペースで学習したい」、「集中できる環境で学習したい」という方にオススメです。

■時間帯／①9:30～12:30 ②12:30～15:30 ③15:30～18:30 ④18:30～21:30※
※日曜日は④の時間帯はございません。

受講メリット

- 受講日も時間帯も自分の都合で決めることができる!
- 巻き戻し・早送りで重要ポイントも見逃さない!
- 講義録(板書)の活用でノート作成不要だから講義に集中できる!
- 「教室フリーパス制度」を利用し、教室講座にも無料で出席できる!

3 教室講座

教室講座

(Webフォロー標準装備)

迫力の講義は、 わかりやすさが断然違う!

Webフォロー
標準装備

日程表に沿ってTACの教室に通学する学習スタイルです。迫力あふれる講義をライブで体感でき、講師から直接ノウハウを吸収することができます。講師だけでなく、同じ目標を持った受講生とのコミュニケーションも教室講座の大きな魅力です。

※教室講座の開講は、八重洲校のみとなります。

受講メリット

- 疑問点はその場で講師に即質問、即解決できる!
- 通学スタイルだから学習のペースがつかみやすい!
- 身近にいる受講生同士で、情報交換などが行える!

Webフォロー
標準装備

について

Webフォロー

ブロードバンドを活用した 画期的なeラーニングは 学習効果抜群!

インターネットを利用してパソコンで学習するスタイルです。教室の講義を収録した映像をストリーミング※配信しています。このシステムによりインターネット接続環境があれば受講期間は、いつでも何度でも臨場感あふれた講義を受講することが可能です。

※ストリーミング…データを受信しながら同時に再生を行う方式。



Webフォローの動作環境は、TACホームページ(https://portal.tac-school.co.jp/)内の「WEB SCHOOL」ページにてご案内しております。お申込み前には、この動作環境ご案内ページをご確認いただき、無料体験版ページにて受講するパソコン環境からの動作を必ずご確認くださいませようお願い申し上げます。

TACが
選ばれる理由

4 充実のフォロー



追っかけフォロー〈無料〉

教室

開講日が過ぎても、過ぎてしまった講義をDVDブースで受講し、教室講座の日程に追いついたところから教室講義に出席することができます。

※一部の直営校(八重洲校、新宿校、水道橋校、なんば校)でのご視聴に限られます。



個別DVD重複フォロー〈有料〉



教室

出席した講義について、TAC各校のDVDブースにてご視聴いただくことができます(要予約、500円/回)。

※一部の直営校(八重洲校、新宿校、水道橋校、なんば校)でのご視聴に限られます。



個別DVD振替フォロー〈有料〉



教室

欠席した講義を、DVDブースで視聴することができます(要予約、¥500/回)。

※一部の直営校(八重洲校、新宿校、水道橋校、なんば校)でのご視聴に限られます。



自習室



DVD通信

個別DVD

教室

授業等で使用していない教室は自習室としてご利用いただけます。

※本科生・単科生の方は、受講スタイル(DVD通信講座・個別DVD講座・教室講座)にかかわらず受講期間までご利用いただけます。

※教室の使用状況により自習室としてご利用いただけない場合もございます。



i-support

質問・最新情報はここで確認!
インターネットならではの機能が充実!

TACでは、合格に向かって邁進する受講生をサポートするため、Webにおける学習支援システム「i-support」を運用しています。講義・教材に関するご質問のほか、講座からの情報収集ツールとしてご利用ください。

※i-supportの対象コースに関しましては、P15-16の「コースガイド」をご覧ください。

※i-supportのご利用は、受講期限までとなります。

※i-supportのご利用は、パソコンでインターネットに接続できる環境があり、パソコンのeメールアドレスをお持ちの方に限定させていただきます。

※i-supportの動作環境は、TACホームページ(http://www.tac-school.co.jp/)内のWEB SCHOOLページにて、ご確認ください。なお、i-supportの動作環境は、Webトレーニング・Web答練の動作環境とは異なりますので、ご確認の際は、i-support登録ページ内の動作環境をご覧ください。

質問メール いつでもメールで質問できる!

TAC講師にいつでもメールで質問することができます。疑問点や不明点は早めに解決することが大切です。TAC講師が分かりやすく丁寧にお答えします。

<質問メールに関しての注意事項>

※CIA試験の内容については非開示が義務付けられているため、ご質問によっては回答できない場合がございます。予めご了承ください。

※質問の回数は、Wライセンス本科生およびCIA本科生20回、各科目の単科生は各5回となります。

講座からのお知らせ

最新の試験情報や役立つ情報を発信

試験に関する情報、講座案内、受講ガイドなど、受験生に役立つ様々な情報をWeb上で確認できます。

■ 本科生特典 [Wライセンス本科生・CIA本科生]

本科生
特典1

教室フリーパス制度

無料

本科生
特典2

再受講割引制度

本科生は学習メディア(DVD通信講座・個別DVD講座・教室講座)にかかわらず、受講期間内であれば、すべての教室講義に出席することができます。

※教室フリーパス制度は教室講義に出席できる特典です。DVDブースで視聴することはできませんので、予めご了承ください。

本科生は受講期限後、既に受講した科目の単科生コースを割引受講料で受講することができます。苦手科目の克服や最新情報の取得等にご活用ください。

※受講料はP19-20の「受講料一覧」をご覧ください。

TACは、効率的かつ効果的に学習できる実践的カリキュラムを用意しています。

標準学習期間:10ヶ月



本科生コース TACが最もオススメするオールインワンのメインコース。

CIA・CCSA Wライセンス本科生 [初学者対象] 教育訓練給付制度(一般)指定コース **オススメ**

(9th Edition) 会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

コース	講義	合計時間
内部監査の基礎	Part I: 講義 [全7回]	17.5時間
内部監査の実務	Part II: 講義 [全6回]	15時間
内部監査に関連する知識	Part III: 講義 [全13回]	32.5時間
CCSA	試験対策: 講義 [全1回]	3時間
ファシリテーション	トレーニング: 講義・演習 [2日間]	-

CIA本科生 **CCSA認定対策**

CIA 教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング・添削課題4回 **ファシリテーション** 教材 レジュメ(当日配布) 質問 20回 [i-support]

CCSA 教材 (社)日本内部監査協会発行CCSA資格認定試験スタディガイド、講義レジュメ(対策問題20題収録)、講義DVD1枚

※ファシリテーション講座にしましては、Wライセンス本科生をお申込後、受講期間内に実施回指定の手続きをTACの校舎にて済ませてください。ファシリテーション講座は、不定期で実施しています。日程等につきましては、CIA講座のホームページにてご案内いたします。

※教育訓練給付制度を利用される方は、TAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」をご覧ください。

CIA・CCSA Wライセンス本科生 受講料 (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **¥248,000**

標準学習期間 **10ヵ月** 受講期間最大16ヶ月 **uketsuke 受付 TACお申込みサイト**

CIA本科生 [初学者対象] 教育訓練給付制度(一般)指定コース:CIA本科生DVD通信講座 **オススメ**

(9th Edition) 会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

コース	講義	合計時間
内部監査の基礎	Part I: 講義 [全7回]	17.5時間
内部監査の実務	Part II: 講義 [全6回]	15時間
内部監査に関連する知識	Part III: 講義 [全13回]	32.5時間

CIA本科生 受講料 (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **個別DVD講座** (Webフォロー標準装備) **教室講座** (Webフォロー標準装備) **¥198,000**

標準学習期間 **10ヵ月** 受講期間最大16ヶ月 **uketsuke 受付 TACお申込みサイト**

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング・添削課題4回 質問 20回 [i-support]

※教育訓練給付制度を利用される方は、TAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」をご覧ください。

単科生コース 必要な科目だけ受講できる科目合格者にオススメのコース。

単科生 [初学者・科目合格者対象]

会計初学者の方は、Basic会計講座をご受講ください。

コース	講義	合計時間
内部監査の基礎	Part I: 講義 [全7回]	17.5時間
内部監査の実務	Part II: 講義 [全6回]	15時間
内部監査に関連する知識	Part III: 講義 [全13回]	32.5時間

(9th Edition) (9th Edition) (9th Edition)

Part I 受講料 (Webフォロー標準装備) (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **教室・個別DVD講座** (Webフォロー標準装備) **¥60,000**

Part II 受講料 (Webフォロー標準装備) (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **教室・個別DVD講座** (Webフォロー標準装備) **¥60,000**

Part III 受講料 (Webフォロー標準装備) (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **教室・個別DVD講座** (Webフォロー標準装備) **¥120,000**

受講期間 最大 **7ヵ月** 受講期間 最大 **7ヵ月** 受講期間 最大 **7ヵ月**

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング 質問 5回 [i-support]

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

サポートコース 論点補強のためのスペシャルコース。

Basic会計講座 [会計論点補強]

初めて会計を学習される方でも、PartⅢの講義を安心して受講していただけるように、Basic会計講座では、財務会計・管理会計の基礎論点について、対策講義を行います。会計に特化した過去問が100題ついてきますので、会計論点を補強したい方にもオススメです。

教材 テキスト、トレーニング・Webトレーニング [100題]
DVD 講義 [全6回]

※PartⅢの講義は、財務会計・管理会計の基礎知識をお持ちであることが前提となります。必要に応じて、Basic会計講座をご受講ください。

トレーニングは、会計に関する過去問のうち、基本的な問題を中心に良問で構成されています。CIA試験は、基礎から応用まで幅広く出題されますので、PartⅢの学習前に受講されることをお勧めしています。会計初学者の方はもちろんですが、会計が得意な方にもお勧めしています。

Basic会計 (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **¥12,800**

受講期間 最大 **5ヵ月**

※サポートコースのみのお申込みの場合は、自習室、i-support (質問メール等) はご利用できません。

uketsuke 受付 TACお申込みサイト

CCSA認定対策コース CCSA認定のためのスペシャルコース。

CCSA試験対策講座 [CIA Part I・II学習修了者]

Wライセンスを狙おう!!

コース	講義	合計時間
内部監査の基礎	Part I: 講義 [全7回]	17.5時間
内部監査の実務	Part II: 講義 [全6回]	15時間
CCSA	試験対策: 講義 [全1回]	3時間

CCSA試験対策講座 (8%税・教材費込み) **DVD通信講座** (Webフォロー標準装備) **¥12,800**

学習修了が前提(旧試験のPart I・IIでも可)

教材 (社)日本内部監査協会発行CCSA資格認定試験スタディガイド、講義レジュメ(対策問題20題収録)、講義DVD1枚

※本講座はCIA試験「Part I・II」の知識を前提としています。初学者の方は、CIA講座の本科生または単科生「Part I・II」のご受講から検討ください。

※自習室・i-support (質問メール等) はご利用できません。

受講期間 最大 **5ヵ月** **uketsuke 受付 TACお申込みサイト**

ファシリテーション・トレーニング講座 [各回先着20名限定]

交流を深めよう!!

日次	講義	時間
[1日目]	講義および演習	9:30~17:45 (休憩含む)
[2日目]	講義および演習	9:30~17:45 (休憩含む)

受講料 (8%税・教材費込み) **¥72,000** **TAC会員割引※** **¥64,800**

人数限定のため、TAC直営校にてお申込みください。(e受付および郵送でのお申込みはできません。)

※ TAC・Wセミナー会員の方で、0または9から始まる10桁の会員番号をお持ちの方を対象としています。窓口でお申込みの際は、会員証をご提示ください。会員証を紛失された場合は、各窓口にお問い合わせください。確認がとれましたら会員価格にてお申込みいただけます。

※ 他の割引との併用はできません。

教材 レジュメ(当日配付)

日程は都合により、変更になる場合があります。
予めご了承ください。

受講期間 秋本科生: 2017年 9月1日～2018年12月25日
冬本科生: 2017年12月1日～2019年 3月31日

教室講座日程(八重洲校)

※DVD通信・個別DVD講座でご受講中の方も、
教室フリーパス制度でご出席いただけます。

科目	回数	日程	時間
内部監査に 関連する知識 PartⅢ (9th Edition)	①	7月 30日 (日)	13:00～15:30
	②	8月 6日 (日)	9:30～12:00
	③	8月 6日 (日)	13:00～15:30
	④	8月 20日 (日)	9:30～12:00
	⑤	8月 20日 (日)	13:00～15:30
	⑥	8月 27日 (日)	9:30～12:00
	⑦	8月 27日 (日)	13:00～15:30
	⑧	9月 3日 (日)	9:30～12:00
	⑨	9月 3日 (日)	13:00～15:30
	⑩	9月 10日 (日)	9:30～12:00
	⑪	9月 10日 (日)	13:00～15:30
	⑫	9月 24日 (日)	9:30～12:00
	⑬	9月 24日 (日)	13:00～15:30
内部監査の基礎 PartⅠ (9th Edition)	①	10月 15日 (日)	13:00～15:30
	②	10月 22日 (日)	9:30～12:00
	③	10月 22日 (日)	13:00～15:30
	④	10月 29日 (日)	9:30～12:00
	⑤	10月 29日 (日)	13:00～15:30
	⑥	11月 5日 (日)	9:30～12:00
	⑦	11月 5日 (日)	13:00～15:30
内部監査の実務 PartⅡ (9th Edition)	①	11月 12日 (日)	9:30～12:00
	②	11月 12日 (日)	13:00～15:30
	③	11月 26日 (日)	9:30～12:00
	④	11月 26日 (日)	13:00～15:30
	⑤	12月 3日 (日)	9:30～12:00
	⑥	12月 3日 (日)	13:00～15:30
内部監査に 関連する知識 PartⅢ (9th Edition)	①	1月 14日 (日)	13:00～15:30
	②	1月 21日 (日)	9:30～12:00
	③	1月 21日 (日)	13:00～15:30
	④	2月 4日 (日)	9:30～12:00
	⑤	2月 4日 (日)	13:00～15:30
	⑥	2月 18日 (日)	9:30～12:00
	⑦	2月 18日 (日)	13:00～15:30
	⑧	3月 4日 (日)	9:30～12:00
	⑨	3月 4日 (日)	13:00～15:30
	⑩	3月 11日 (日)	9:30～12:00
	⑪	3月 11日 (日)	13:00～15:30
	⑫	3月 17日 (土)	9:30～12:00
	⑬	3月 17日 (土)	13:00～15:30
内部監査の基礎 PartⅠ (9th Edition)	①	3月 25日 (日)	13:00～15:30
	②	3月 31日 (土)	9:30～12:00
	③	3月 31日 (土)	13:00～15:30
	④	4月 8日 (日)	9:30～12:00
	⑤	4月 8日 (日)	13:00～15:30
	⑥	4月 15日 (日)	9:30～12:00
	⑦	4月 15日 (日)	13:00～15:30

教材発送日程(DVD通信講座)

発送教材		秋本科生・単科生(※)	冬本科生・単科生(※)
PartⅠ	PartⅠテキスト9th	9月1日(金)	12月1日(金)
	PartⅠトレーニング9th		
	PartⅠトレーニング6th		
	DVD PartⅠ①～⑦		
PartⅡ	PartⅡテキスト9th	9月1日(金)	12月1日(金)
	PartⅡトレーニング9th		
	PartⅡトレーニング6th		
	DVD PartⅡ①～⑥		
PartⅢ	PartⅢテキスト9th上巻	9月1日(金)	12月1日(金)
	PartⅢテキスト9th下巻		
	PartⅢトレーニング9th		
	PartⅢトレーニング6th上巻		
	PartⅢトレーニング6th下巻		
	DVD PartⅢ①～⑬		
CCSA	CCSAスタディガイド(※1)	9月1日(金)	12月1日(金)
	講義レジュメ(対策問題20題収録)(※1)		
	CCSA講義DVD①(※1)		

※単科生は該当教材のみ発送

※1 Wライセンス本科生、CCSA対策コースのみ

個別DVD・Webフォロー視聴開始日

個別DVD対応校舎(八重洲校・新宿校・水道橋校・なんば校)

		個別DVD・Webフォロー視聴開始日	
科目	回数	秋本科生・単科	冬本科生・単科
内部監査の基礎 PartⅠ (9th Edition)	① ⑦	9月1日(金)	12月1日(金)
内部監査の実務 PartⅡ (9th Edition)	① ⑥	9月1日(金)	12月1日(金)
内部監査に 関連する知識 PartⅢ (9th Edition)	① ⑬	9月1日(金)	12月1日(金)

※Webフォローは、P.19-20の受講期限までご視聴いただけます。

※お申込みの時期により、教材の到着よりも、Webフォロー視聴開始日が早い場合がございます。予めご了承ください。

サポートコース

教材発送

	送付内容	2017年秋	2017年冬
BASIC会計講座	BASIC会計テキスト	9月1日(金)	12月1日(金)
	BASIC会計トレーニング		
	DVD ①～⑥		
CCSA認定対策コース	CCSAスタディガイド	9月1日(金)	12月1日(金)
	講義レジュメ(対策問題20題収録)		
	DVD ①		

Webフォロー視聴開始日程

	回数	2017年秋	2017年冬
BASIC会計講座	講義①～⑥	9月1日(金)	12月1日(金)
CCSA試験対策講座	講義①	9月1日(金)	12月1日(金)

※Webフォローは、P.19-20の受講期限までご視聴いただけます。

※お申込みの時期により、教材の到着よりも、Webフォロー視聴開始日が早い場合がございます。予めご了承ください。



教育訓練給付制度（一般）

「Wライセンス本科生」「CIA本科生」のDVD通信が対象となります。

Wライセンス本科生

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
Wライセンス本科生 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-111	96	¥248,000	9月1日	2018年 12月25日	9th Edition
Wライセンス本科生 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-111	96	¥248,000	12月1日	2019年 3月31日	9th Edition

CIA本科生

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
CIA本科生 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-211	96	¥198,000	9月1日	2018年 12月25日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-221	※1	¥198,000	9月1日	2018年 12月25日	9th Edition
CIA本科生 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-211	96	¥198,000	12月1日	2019年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-221	※1	¥198,000	12月1日	2019年 3月31日	9th Edition

単科生 PartI

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
PartI 9th Eidion 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-311	96	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-321	※1	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartI 9th Eidion 2017年秋 再受講	DVD通信+Webフォロー	183-341	96	¥30,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-351	※1	¥30,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartI 9th Eidion 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-311	96	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-321	※1	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
PartI 9th Eidion 2017年冬 再受講	DVD通信+Webフォロー	184-341	96	¥30,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-351	※1	¥30,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition

単科生 PartII

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
PartII 9th Eidion 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-411	96	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-421	※1	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartII 9th Eidion 2017年秋 再受講	DVD通信+Webフォロー	183-441	96	¥30,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-451	※1	¥30,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartII 9th Eidion 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-411	96	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-421	※1	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
PartII 9th Eidion 2017年冬 再受講	DVD通信+Webフォロー	184-441	96	¥30,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-451	※1	¥30,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition

単科生 PartIII

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
PartIII 9th Edition 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-511	96	¥120,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-521	※1	¥120,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartIII 9th Edition 2017年秋 再受講	DVD通信+Webフォロー	183-541	96	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	183-551	※1	¥60,000	9月1日	2018年 3月31日	9th Edition
PartIII 9th Eidion 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-511	96	¥120,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-521	※1	¥120,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
PartIII 9th Eidion 2017年冬 再受講	DVD通信+Webフォロー	184-541	96	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition
	教室・個別DVD+Webフォロー	184-551	※1	¥60,000	12月1日	2018年 6月30日	9th Edition

サポートコース

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
Basic会計講座 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-611	96	¥12,800	9月1日	2018年 1月31日	—
Basic会計講座 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-611	96	¥12,800	12月1日	2018年 4月30日	—

CCSA認定対策コース

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	開講・発送開始日	受講期限	教材Ver.
CCSA試験対策講座 2017年秋	DVD通信+Webフォロー	183-771	96	¥12,800	9月1日	2018年 1月31日	—
CCSA試験対策講座 2017年冬	DVD通信+Webフォロー	184-771	96	¥12,800	12月1日	2018年 4月30日	—

ファシリテーション・トレーニング講座

コース名	学習メディア	コースNo.	クラスNo.	受講料(8%税込)	申込開始日	受講期限	教材Ver.
ファシリテーション・トレーニング 第21回	教室	184-871	F1	¥72,000	随時	2017年12月10日	—
ファシリテーション・トレーニング 第21回 TAC会員割引	教室	184-881	F1	¥64,800	随時	2017年12月10日	—

教室・個別DVD講座クラスNo.一覧(※1)

教室講座

校	舎	クラスNo.
八	重 洲 校	F1

※八重洲校の詳細は裏表紙をご確認ください。

個別DVD講座

校	舎	クラスNo.
水 道 橋 校		20
新 宿 校		G0

校	舎	クラスNo.
八 重 洲 校		F0
な ん ば 校		B0

注意

- ・0から始まる会員番号をお持ちでない方は、受講料のほかに別途入会金(¥10,000・8%税込)が必要です。会員番号につきましては、TAC各校またはカスタマーセンター(0120-509-117)までお問い合わせください。
- ・サポートコース、CCSA試験対策コース、ファシリテーション・トレーニング講座は入会金不要です。
- ・受講料には、教材費・消費税8%が含まれています。
- ・お申込みの時期によって、受講期限は延長になりません。
- ・単科生には教室フリーパス制度は適用されません。
- ・再受講のお申込みは、TAC各校受付または、郵送のみ承ります。e受付・書店代理店・大学生協ではお申込みできません。お申込み時に①「本科生での受講を証明するもの(会員証等)」・②「身分証明書」をご提示ください。なお、郵送の場合は、①のコピーを同封してください(②は不要です)。
- ・その他の割引制度との併用はできません。
- ・サポートコース、CCSA試験対策コース、ファシリテーション・トレーニング講座は、自習室・i-support(質問メール等)をご利用できません。
- ・講義日程等は都合により変更になる場合があります。その際、日程が変更になる場合があります。予めご了承ください。

CPEとは

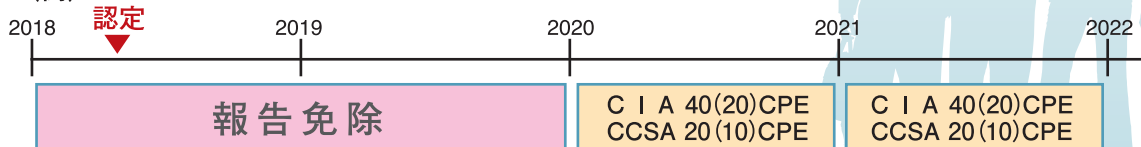
CPE(Continuing Professional Education、継続的専門能力開発制度)とは、IIA認定資格保持者がその称号を得た後も、常に専門職としてふさわしい能力・知識の開発を維持し、その称号を維持するに値しているかの証明を目的としたIIAの制度です。

必要なCPEの単位数は？

資格認定をされた翌々年より、毎年12月に報告が必要です。

- ・内部監査実務に従事されている方は、CIA:40単位、CCSA:20単位
- ・内部監査実務に従事されていない方は、CIA:20単位、CCSA:10単位

(例)



CPEの取得方法は？

CIA・CCSAの専門的能力の開発や維持に貢献する分野であれば、監査及び会計関連・IT・経済など、比較的幅広い分野での活動が認められます。

CPE単位は50分=1単位として付与されます。

資格の学習でもCPEを取得し報告できますし、IIAが開催しているセミナーへの出席等でもCPEを取得することが可能です。

(例) TAC BATIC®講座(国際会計検定)の場合

Subject1本科生(2時間半×8回)¥26,000~¥30,000を学習いただくと、24CPEの取得が可能です(Web通信で視聴確認ができる場合に限りです)。

※CPEにつきまして、より詳細な情報および最新情報は、協会ホームページ(<http://www.iiajapan.com/iiia/>)をご確認ください。



教育訓練給付制度(一般)とは

以下、教育訓練給付制度に関する説明は、全て「一般教育訓練」についての内容です。現在TACで開講している講座は、「専門実践教育訓練」ではありませんのでご注意ください。

教育訓練給付制度とは、働く人の主体的な能力開発の取組を支援し、雇用の安定と再就職の促進を図ることを目的とする雇用保険の給付制度です。一定の条件を満たす雇用保険の被保険者※(在職者)または被保険者であった方(離職者)が、厚生労働大臣の指定する一般教育訓練を受講し修了した場合、本人自らが教育訓練施設に支払った入会金・受講料の20%(上限10万円)がハローワークから支給されます。

※被保険者とは、一般被保険者及び高年齢被保険者をいいます。

注意事項

- 教育訓練給付制度のご利用をお考えの方は、受講申込前にTAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」にて制度の内容ならびに対象コースを必ずご確認ください。
- 教育訓練給付制度をご利用希望の場合は、「TAC/Wセミナー教育訓練給付制度申請申込書」をTACへご提出ください。

詳しくは以下の『申込みから支給まで(各STEP)』をご確認ください。



(※1) 支給要件期間…受講開始日までの間に雇用保険の一般被保険者、高年齢被保険者または短期雇用特例被保険者として雇用された期間(雇用保険への加入期間)をいいます。
(※2) 給付制限期間…平成26年10月1日以降に教育訓練給付金を受給した場合、前回の教育訓練給付金受給日から今回受講開始日前までに3年以上経過していることが必要です。

★詳細についてはTAC発行の「教育訓練給付制度パンフレット」をご覧ください。

平成29年2月1日現在

教育訓練給付制度に関するQ&A

Q 一般教育訓練給付制度を何度も利用することはできますか？

A 支給要件期間と教育訓練給付金受給後の制限期間により、約3～4年に一度ご利用になれます。
当制度を初めて利用する方に限り、支給要件期間が1年以上あればご利用になれます。一度制度を利用し、教育訓練給付金を受給すると、その時の受講開始日以前の支給要件期間(雇用保険の一般被保険者期間)は、次に給付制度を利用する時には通算されません。このため、過去の受講開始日以降の支給要件期間が3年以上にならないと、新たな資格が得られないことになります。
さらに、平成26年10月1日以降に教育訓練給付金を受給した場合は、受給の際にハローワークが定める「支給決定日」から受講開始日前までに3年以上経過していることも必要となります。
なお、同時に複数のコースで制度を利用することはできません。

Q 「受講開始日に支給要件が必要」とありますが、受講開始日とはいつですか？

A 通学生は講座開講日、通信生は初回発送日です。
通学生(教室・個別DVD講座)と通信生では、受講開始日の定義が異なります。
●通学生は講座の開講初日が受講開始日となります。開講前や開講後に講座をお申込みになった場合も、日程表の開講初日が受講開始日となります。
●通信生は、講座申込後に教材等を初めて発送する日が受講開始日となります。受講開始日において、ご自身に支給要件があるか確認してください。

Q 一度会社を退職して、改めて就職した場合の雇用保険被保険者期間について教えてください。

A 離職日から再度就職し雇用保険被保険者となるまでの空白期間が1年以内の場合、前職における雇用保険被保険者であった期間は通算されます。
詳細については、ハローワークで支給要件照会を行うことにより確認することができます。

Q 給付金の支給対象となる経費には、どのようなものがありますか？

A ご本人が支払った入会金と受講料が対象経費となります。
厚生労働大臣指定の教育訓練講座の入会金および受講料のみが対象の経費となります。また、今回の受講にあたり、キャンペーン・特典等でTAC/Wセミナーより図書カード、QUOカード等の受取りや返金等があった場合、それらの金額は給付金の対象外となります。

支給対象外一例 ●Webフォローやオプション講座の受講料 ●検定試験(本試験)受験料 ●パソコン、参考書代等補助教材費 等

Q 受講料をクレジットカードまたは教育ローンで支払いののですが、給付の支給対象になりますか？

A 給付金支給対象となります。
ただし、ご利用になるカードや引き落とし口座の名義は、当然ながら受講者ご本人様のものに限られます。ご家族などのカードでのお支払いは、給付金の支給対象にはなりません。また、ご本人様のクレジットカードや教育ローンをご利用になる場合でも、支給対象となる金額は、カード会社やローン会社の手数料を除く支払金額(入会金・受講料)のみです。

Q 受講料を会社が補助した場合は、支給対象にならないのでしょうか？

A 自己負担額が対象です。受講料にあたる補助は対象になりません。
支給の対象となる経費は、受講される方自らの名においてお支払いになった費用を言い、会社等から支払われた費用は対象となりません。よって、受講者本人と会社等がそれぞれの名義で分担・区分して受講料をお支払いになった場合、そのうち受講者本人が負担した額のみ経費とみなされます。受講修了後、ハローワークへ給付金の支給申請をする際に、会社から補助を受けた(受ける可能性がある)金額を申告する必要があります。申告の方法や必要書類、申告の対象となる補助等(自己啓発支援・合格祝等)の詳細は、ハローワークへお問い合わせください。

ご不明な点は
これで解決!!

当制度に関するご質問は、各スクール受付窓口、TACホームページ、またはフリーダイヤルにお問い合わせください。

TACホームページ

<http://www.tac-school.co.jp/>



0120-509-117

※携帯・自動車電話・PHSからもご利用いただけます。
【受付時間】月～金/9:30～19:00 土・日・祝/9:30～18:00

TAC

★詳細についてはTAC発行の教育訓練給付制度パンフレットをご覧ください。

平成27年10月1日現在

TACの安心宣言!

TACは受講生の皆様に安心な学習環境を提供することを宣言します!

宣言その1 ISO29990の認証を取得

TACは財務・会計、経営・税務、金融・不動産・建築、法律、公務員・労務、情報・国際、医療・福祉分野における教育・研修サービスの提供に関して“ISO29990:2010”の認証を取得いたしました。
詳しくは、弊社HP (<http://www.tac-school.co.jp/iso.html>) をご覧ください。



宣言その2 プライバシーマークの取得

TACは受講生の皆様からお預かりした大切な個人情報を適切に取り扱い、保護いたします。
その証として、「一般財団法人日本情報経済社会推進協会」からプライバシーマークを取得しています。
詳しくは、弊社HP (<http://www.tac-school.co.jp/privacy/>) をご覧ください。



宣言その3 ハラスメント防止啓発の推進

TACは受講生の皆様に対し、安心して学習できる環境をご提供するため、ハラスメント防止啓発の推進に努めています。ハラスメントに関するご相談は、ハラスメント相談室(harassment@tac-school.co.jp)、または各校舎の拠点相談窓口をご利用ください。
詳しくは、弊社HP (<http://www.tac-school.co.jp/harassment.html>) をご覧ください。

宣言その4 暴力団等反社会的勢力反対の取り組み

TACは「暴力団排除条例」の基本理念に基づき、暴力団またはその関係者などの反社会的勢力に対しては、次のとおりとすることを宣言いたします。
・反社会的勢力との取引は行わず、またこれらを利用しません
・反社会的勢力に不当な利益を与えません
・反社会的勢力からの不当な要求には一切応じません

宣言その5 適正な広告の表示

TACは商品、サービス等の内容や取り扱いについて、可能な限り透明かつ正確な情報を提供するとともに、誤認のないよう解りやすい広告表示をするために、広告表示に関する基準を公開しています。
詳しくは、弊社HP (<http://www.tac-school.co.jp/koukou.html>) をご覧ください。

2017年5月